

二子町周辺の古墳

標高約10～11mの段丘に複数の古墳が分布し、味美古墳群を形成しています。

味美古墳群とは・・・

- ・4世紀の白山藪古墳(名古屋市北区・滅失)に始まり、その後約150年の間に6基の前方後円墳(首長墓)が継続的に築造された県下でも有数の古墳群です。
- ・二子山古墳は継体天皇の真陵とされる今城塚古墳(高槻市・墳長190m)や断夫山古墳(名古屋市・墳長150m)と共通する墳丘規格が認められています。
- ・埴輪は北へ約8km地点の下原古窯跡群で生産されたと想定されています。大量生産を行うために須恵器製作技法を用いて製作された埴輪は、須恵器工人在埴輪生産に携わったことを示すものであり、このような生産体制は地域性の強い特徴と考えられます。



1 二子山古墳 (二子町2-11-5・6)

国指定史跡 (昭和11年)

築造時期：6世紀前葉
墳形：前方後円墳
墳長：94m
出土遺物：円筒埴輪・形象埴輪・須恵器

6世紀代の尾張地方では2番目の大きさを誇る市内最大の古墳です。公園設備に伴う発掘調査を平成3・4年に行い、周溝東側の溝から円筒埴輪や人物・馬等の形象埴輪、須恵器が出土しました。墳丘規格や埴輪の配列は、大阪府の今城塚古墳(継体天皇陵)との共通点が認められ、二子山古墳の被葬者を考えるうえで重要です。



2 白山神社古墳 (二子町2-11-3)

県指定史跡 (昭和58年)

築造時期：5世紀末～6世紀初頭
墳形：前方後円墳
墳長：84m
出土遺物：円筒埴輪・形象埴輪・須恵器

平成19年に発掘調査を行い、墳丘は2段築成で、前方部中段の平坦面に築造当時の位置を保持した円筒埴輪列が確認されました。また、周溝埋土からは複数種の形象埴輪片が出土しました。



3 御旅所古墳 (二子町2-11-2)

国指定史跡 (昭和58年)

築造時期：5世紀末～6世紀初頭
墳形：円墳
直径：31m
出土遺物：円筒埴輪・形象埴輪・須恵器

昭和50年に発掘調査を行い、墳丘は2段築成で、墳丘中段の平坦面に築造当時の位置を保持した円筒埴輪列が確認されました。



4 春日山古墳 (中新町2-20-2)

築造時期：6世紀中～後葉
墳形：前方後円墳
墳長：72m
出土遺物：不明

二子山古墳に後続すると推定され、現在は春日山公園内に保存されています。かつて巨石が掘り出され白山神社に運ばれたという記録があり、埋葬施設は横穴式石室の可能性が考えられます。

